

# WEEKLY REPORT

2018-2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン



承認/1965年 6月 25日  
例会日/毎週木曜日 12時 30分  
例会場/江南商工会館1F 大ホール  
江南市古知野町小金112  
TEL 0587-54-8132

事務局/江南商工会館別館1F  
〒483-8205 江南市古知野町小金112  
TEL 0587-55-6554 FAX 0587-59-7720  
URL <http://www.kounan-rc.com/>  
e-mail [kounanrc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kounanrc@beach.ocn.ne.jp)  
会長/片平博己 幹事/波多野智章 会報・広報雑誌委員長/猪子明



## 2019年(令和元年)5月9日(木)晴れ 第2648回(当年度第34回)例会

点 鐘  
司 会  
国歌斉唱  
ロータリーソング斉唱  
四つのテスト唱和

会長 片平 博己君  
SAA 近藤 道磨君  
「君が代」  
「奉仕の理想」  
近藤 道磨君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか
- ゲスト及びビジター紹介

米山奨学生 サマンサ ウン ムン イ君



会長挨拶

会長 片平 博己君

令和・新時代の幕が開きました。崩御によるものではなく、譲位による新天皇の即位であり、また、連休中でもありましたので、歓迎ムード一色となり、まさに新元号フィーバーとも言える状況ではないでしょうか。「大化の改新」で有名な「大化」という元号が使われるようになったのは、西暦 645 年です。ここから日本独自の元号が始まったのですから、この国は 1300 年以上続いていることは明らかです。また、今上天皇は、126 代目

で、歴代の天皇で実在が確かな天皇は、16 代仁徳天皇ですから、そこを起点とすれば 1700 年を超えています。



もちろん、それ以前にもこの国を治めていた人がいたのは当然のことで、我が国の建国は、およそ 2000 年としても大きく外れることはないという説もあります。

また、「日本書紀」によれば、初代神武天皇が橿原宮で即位したのが紀元前 660 年とありますから、これによると我が国の建国は、2700 年近くになります。もっとも、これはあまり信憑性がないとのこと。

しかし、一番短く見積もっても、日本は世界最古の国家となります。二番目がデンマーク、三番目が英国です。ちなみに、アメリカの建国は 1776 年、フランスが 1789 年、中国は毛沢東が中華人民共和国成立を宣言した 1949 年、ロシアは 1991 年です。

日本がこのように、長きにわたり一つの国家であり続けることができたのは、地理的要因や偶然もあったかもしれませんが、とてもありがたく誇らしいことです。その流れの中で「和をもって貴しとなす」という日本人らしい人柄、国柄となったと言えます。大災害に見舞われても国民が助け合い、落ち着きを失わないのはその表れではないでしょうか。このことは、令和・新時代の幕開けにあたりもう一度、確認すべき事柄であると思います。

しかし、元号が変わっても、人口減少、超高齢化社会、領土問題など国内外の問題はそのまま引き継がれてい

きます。このムードを一過性のもの、現実から目をそらすためのものであってはいけません。気分一新し、「令和」に込められている「日本人らしく、誇りをもって、美しく生きる」ことをもとに、問題に真正面から取り組み、変えるべきことは大胆に変えていくことが必要なのでしょう。まずは、自分、家庭、会社、そしてロータリークラブから…。  
「令和」の時代が、皆様にとって益々幸せな時代となりますように！

**米山奨学生紹介**

**サマンサ ウン ムン イ君**



**委嘱状伝達  
カウンセラー**

**山田 猛君**



**幹事報告 -別紙-**

**幹事 波多野智章君**

**祝 福**

**委員長 尾関 育良君**

**出席報告 委員長 富永 典夫君**

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
45名	35名	10名	85. 37%
前々回 欠席者6名(4月25日) 補正出席率 83. 78%			

**ニコボックス 富永 典夫君**

○担当委員長の皆様 地区研修・協議会報告 宜しくお願いします。  
片平 博己、加藤 義晴、波多野 智章、暮石 哲真各君  
○頭の手術も終わり久方振りに出席できた喜び。  
伊藤 鶴吉君  
○米山奨学生 サマンサ ウン ムン イさんを宜しくお願い致します。  
山田 猛君  
○「地区研修・協議会報告」担当の皆様宜しくお願いします。  
ようこそ、サマンサ ウン ムン イ君 江南へ  
松岡 一成、富永 典夫、沢田 昌久、岩田 静夫、木本 寛、岩田 進市、永井 義康 各君

**卓 話  
地区研修・協議会報告**

**次年度会長 岩田 静夫君**



まずは伊藤ガバナーエレクトを始めとする地区出向者の皆様につきましては、当日はホストクラブであります豊川宝飯ロータリークラブの皆様と共に早朝から終了撤収まで大変ご苦労様でした。事前準備の大変さを伺っておりましたので、当日何一つミスなく終わられましたことを自分の事のように嬉しく思います。

さて、当日は伊藤ガバナーエレクトのロータリー100周年の鐘点鐘から始まり伊藤ガバナーエレクトのスマートフォンとワイヤレスマイクを使用した所信表明、第2610地区パストガバナーであられる柳生好春氏による「いま、なぜ公共イメージと認知度の向上か」と題した特別講演がなされ、そののち各種分科会に分かれ次年度のための研修が行われました。私は第1分科会の出席義務者であり、テーマとして「グローバルに考え地域社会とつながりロータリーを成長させよう」でありました。この分科会は多数の出席者がおみえでしたので、私は大変僣越ではありますが、所信についてお話をさせていただきます。

重複しますが、2019-2020年度の地区方針は「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」—ポスト平成のクラブをデザインする— であります。ロータリークラブはロータリーの5つの中核的価値観(親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ)ベー

スに、さらに踏み込んだ知的多様性と革新的柔軟性を取り入れる必要性があり、そこにロータリーの持続可能性があると。つまりお互いの違いを超え、深く意義のあるかたちでつなぎ、つながりを地域に発展させ、職業上のネットワークを広げる。それがロータリーを成長させる事であると。

特に活動指針として今しなければならぬ事として、国勢調査の日本の人口ピラミッドの表を出され、10年後20年後の年齢構成を想定し、クラブが持続可能で輝き続けるかを考え、50歳未満の会員や女性会員の入会を促進する事、クラブ戦略委員会において、例会と奉仕のあり方を見直す事、第7回となるWFFに参加し、公共イメージの向上に協力する、ポリオ撲滅のための募金活動を奉仕に取り入れ地域社会とロータリーをつなげる等のお話を賜りました。

最後になりますが、キーフレーズを紹介し終りとします。

ロータリーのビジョン声明／ROTARYS VISION (2017) 私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。ロータリークラブの目的(手続要覧)より本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成をめざし、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実践し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである。

次々年度会長 加藤 義晴君



次年度クラブ奉仕委員長 川崎 良一君



過日行われた地区協議会報告において、第2分科会に出席してきました。「クラブをより一層強化しよう」とのテーマで、次期地区研修委員らによるお話がありました。

冒頭、早川次期地区研修委員長より、クラブにおいて新入会員を放置しているのではとの懸念が示されまし

た。クラブに早く馴染めるようにとの配慮が欠けているのではとの指摘でした。当クラブでは、新入会員はS.A.A や親睦活動委員会に配属されますので、委員会が面倒を見ていると思われそうですが、どうでしょうか。

クラブ奉仕委員会は、他の4大奉仕委員会と異なり、クラブ内部に向けた活動をします。その際、クラブ管理については、定款の範囲での各クラブの裁量が発揮できるはずなので、クラブ細則の見直しの必要性も説かれました。

寡聞にして、クラブ奉仕が盛んなクラブがあるという話は聞かないとの話も出ました。つまり、クラブ奉仕は、ルーティンな活動が常であるということです。

もともと、親睦とビジネスで始まったロータリークラブであり、例会が基盤で、そのうえで良い事をしようということです。クラブ奉仕委員会で自己研鑽と親睦を図ったうえで、他の四大奉仕でその奉仕の実践を行うということです。

まずは、例会が楽しくなるようにするのが、クラブ奉仕委員会の役割で、新入会員のケアもその役割の一つであると理解しました。

ロータリー活動について、国際ロータリーと日本のロータリーではそのあり方の意識の相違があり、日本のロータリーではクラブ奉仕をとりわけ重視している傾向にあるそうです。

2016年の規定審議会の結果をうけての対応でも、この変更を導入している日本のロータリークラブは半数に満たないそうです。

これらのことを踏まえて、次年度のクラブ奉仕委員会の運営をしていくことが必要であると痛感しました。

次年度職業奉仕委員長 富田 清孝君



次年度青少年奉仕委員長 永井 義康君





第2分科会テーマ「クラブをより一層強化しよう」

早川 和夫講師(名古屋東山 RC)

クラブでの会員研修について

- ・新会員を放置しているのでは？
- ・クラブロータリー情報・研修委員会の活動について

日比野 万喜男講師(犬山 RC)

クラブ奉仕のそれぞれの役割について

- ・「親睦と奉仕」とポール・ハリスの寛容論について
- ・「理論と実践」から四大奉仕へ
- ・クラブ奉仕「変えられなければならないもの」クラブ管理について
- ・クラブ奉仕委員長・副会長・親睦活動委員長それぞれの役割

岡部 務講師(名古屋北 RC)

クラブ奉仕について

古田 嘉且講師(江南 RC)

クラブの例会について

- ・国際ロータリーの意図する潮流
- ・日本のロータリー100周年実行委員会アンケート調査結果
- ・「ロータリー通解」の意図すること
- ・クラブ例会の勘どころ

クラブをより一層強化するには、会員を増やすことも大切ですが、現メンバー一人一人がよりロータリーを理解していただき、ロータリーを楽しむ事が必要不可欠です。ロータリーを楽しむとは、ロータリーを知ること、例会に出ることです。入会浅いメンバーには、よりコミュニケーションをとり、ロータリーを楽しんでいただくフォローをしていくことが大切であると思いました。



点鐘

会長 片平 博己君

## 文庫通信 [376]

ロータリー文庫通信376号 2019年4月 新会員の  
ためのロータリーの歴史文庫

2019年規定審議会では多くの重要法案が採決され、否が応でもこれからのロータリークラブ／国際ロータリーの管理・運営に影響を及ぼします。これからのロータリーを考える上で、ロータリーの歴史を知ることはその第一歩です。特に、新しく入会された会員のために文献を選びました。初期の頃と今とは、ロータリーの本質の捉え方も異なってきております。歴史的記述には間違いや相反するものも含まれています。冷徹な批判的な眼をもって、過去を正しく分析し、未来のロータリーを考えてください。

書名	著者 / 出版社	発行年
ロータリーの歴史年表 (2018年12月改訂版)	諏訪昭登 -	2018
奉仕の一世紀 国際ロータリー物語	デイビッドC.フォワード著; 菅野多利雄日本語訳監修	2003
ロータリー日本五十年史	ロータリー日本 50年史編集委員会	1971
ロータリー進化論	前原勝樹	1985
ロータリー歴史探訪	田中毅	2004
新会員のための ロータリーの歴史	佐藤 信	1987

\* 資料の検索文庫 H.P. <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



トップページには三つの窓があります。上記矢印「HP利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」というPDFが表示されます。

(担当 暮石 哲真)